

子宮卵管造影検査に関する同意書

医療法人 正育会

春木レディースクリニック 院長殿

子宮卵管造影検査は、子宮内腔の状態や卵管の通過性を調べる検査で、通常は月経周期のおよそ7日～10日目に実施します。内診室で子宮内にカテーテルを挿入後に撮影室へ移動、モニターテレビで観察しながら造影剤を注入し、注入時と注入1時間後にレントゲン撮影を行います。検査時間は、約10分間です。検査中に月経痛程度の痛みを感じることがありますが、ほとんどの場合は軽度で検査実施に問題はありません。この検査によって卵管の通過性が改善し、妊娠率が向上するという報告もあります。排卵直前であれば、検査後も避妊していただくことがあります。

【危険性・合併症】

1. アレルギー：ヨードアレルギーが出現する可能性があります。
2. 感染：子宮内操作による感染や炎症が骨盤内に波及する可能性があります。
3. 疼痛：カテーテル留置時や造影剤注入時に多少の痛みをとまいません。多くの方は軽度で検査に支障はありませんが、疼痛が強く検査を遂行できない場合もまれにあります。
4. 油性の造影剤を使用するため、完全に吸収されるまでに時間がかかることもあります。

※ 以下の場合検査を実施することができません

- ① ヨードアレルギー、あるいはその疑いがある方
- ② 重篤な甲状腺疾患の方
- ③ 妊娠している可能性がある方（検査が終わるまでは必ず避妊してください）
- ④ 1年以内にクラミジア抗原検査を受けられていない方
- ⑤ その他、医師によって実施困難と判断された方

上記の診療行為を受けるにあたり、その内容および必要性などにつき理解、納得のうえで、下記の者と連名をもって、子宮卵管造影検査をお願いいたします。つきましては、緊急に予定以外の処置を行う必要性が生じた場合や、処置内容の変更を必要とする場合などは貴院の方針にしたがい一切をお任せいたします。

※署名・捺印については、必ずご本人および配偶者ご自身がそれぞれ直筆で署名し、互いに異なる印鑑を用いて捺印をお願いいたします。ご自身以外の方が本人の許可なく署名・捺印すると私文書偽造、虚偽申告など重い責任が生じることがありますのでご注意ください。

同意日 20 年 月 日

住所 _____

本人（妻）カルテ番号 _____

氏名 _____ 印

配偶者（夫）氏名 _____ 印